

道産食材 手軽に輸入

いずみHDが専用サイト

生鮮食品卸道内大手のいずみホールディングス（HD、札幌）は、道産の水産品や農畜産品を紹介する専用ウェブサイトを通過して、東南アジアの4カ国の飲食店などが食材を注文できる新サービスを始める。生鮮食品の画像を見て、通販サイトのようにクリック一つで手軽に調達できるようにすることで、道産品の輸出増につなげる狙いだ。

（佐々木馨斗）

タイ、シンガポール、マレーシアとベトナムにある飲食店や小売店のバイヤー、商社などを対象とする。22日から試験輸送を行い、10月1日からの本格運用を予定している。カニやエビ、ホタテなどの水産物を中心に、野菜や

果物、畜産品など約千種類の道産生鮮食品を、専用サイト上で写真付きで紹介。発注は日本時間の毎日午後3時に締め切る。通常は、受注したその日のうちに各産地に手配し、翌朝一番で仕入れを済ませ、昼ごろまでに空輸などで発送する。商品が各国に到着するまで丸2日はかかる。急ぎの場合、即日発送して丸1日で送ることもできるという。

つながる アジア

いずみHDは、インターネットの画面上から道産生鮮品を落札できる会員制サイト「日本卸売市場」を国

タイなど4カ国業者向け 1～2日で現地へ

インターネットを使った東南アジアへの食品輸出のイメージ



内向けに運営している。同社が輸出業務で提携を結ぶシンガポールの水産卸大手「サ・シーフード・カンパニー」と協力して、道産品の需要が高まる東南アジアでも同様のサービスを展開することになった。同社の泉卓真社長は「ITを使った新たな食品流通インフラを海外にも広げることで、道産品の輸出拡大に役立てればうれしい」と意気込む。